



2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年7月2日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <https://www.bs11.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 兼 COO (氏名) 小野寺 徹
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 兼 CFO (氏名) 平山 直樹 (TEL) 03(3518)1900
 四半期報告書提出予定日 2021年7月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	8,780	3.0	1,985	18.7	2,056	22.6	1,406	22.3
2020年8月期第3四半期	8,523	△7.2	1,672	25.4	1,677	25.7	1,149	27.0

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 1,406百万円(22.3%) 2020年8月期第3四半期 1,149百万円(27.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	78.99	78.94
2020年8月期第3四半期	64.58	64.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	21,897	19,856	90.6
2020年8月期	21,419	18,800	87.7

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 19,841百万円 2020年8月期 18,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年8月期	—	0.00	—		
2021年8月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	1.8	2,211	1.0	2,303	4.9	1,533	2.9	86.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年7月2日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年8月期3Q	17,804,032株	2020年8月期	17,804,032株
2021年8月期3Q	137株	2020年8月期	137株
2021年8月期3Q	17,803,895株	2020年8月期3Q	17,803,895株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19、以下「新型コロナウイルス」といいます。）の影響が長期化し、再び都市部を中心とした緊急事態宣言が発令されるなど、厳しい状況が続いております。個人消費に一部持ち直しの動きがみられるものの、未だ感染収束の見通しは立っておらず、依然として先行きは不透明であります。今後は感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げられていくことが推測されますが、当面、厳しい状況が続くと見込まれます。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、デジタル放送受信機の普及に伴い、視聴可能世帯数の割合は全世帯の77.1%（「BS世帯普及率調査」(株)ビデオリサーチ調べ）で推移しております。衛星放送メディア関連の広告費は、1,173億円（前年比92.6%）となり、そのうち70%強は当社を含むBSデジタル放送事業が占めております。

（「2020年 日本の広告費」(株)電通調べ）

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え 幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として、オリジナル色の強化、良質コンテンツの拡充に努め、自社制作の特別番組やアジアドラマ、ヨーロッパミステリー、アニメ等の番組が評価を受け企業広告収入が予想比で堅調に推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間では、視聴者層の更なる増加を目的として良質な自主制作番組と外部リソースの最適なミックスによる編成を実施いたしました。

[レギュラー番組]

報道番組では、国内外の政治・経済・スポーツ・健康・医療・文化などをテーマに、毎回さまざまなゲストを迎えお送りしている『報道ライブ インサイドOUT』に加え、最新ニュースをいち早くお伝えする『速報ニュース インサイドOUT』を2021年2月に放送開始いたしました。中小企業やベンチャー企業に焦点を当てた『NEXT company』では、「SDGs」「M&A」「DX」など次世代の企業に必要な情報を発信し、経済番組の発展にも努めております。

2021年4月の番組改編では、各界の著名人をゲストにゴルフテクニック満載の本格派ゴルフ番組『諸見里しのぶ実践 ゴルフテク!』をスタートいたしました。『BSイレブン競馬中継』、『マイナビ Be a booster! B.LEAGUE ウィークリーハイライト』、『BS11ソフトボール中継 日本女子ソフトボールリーグ2021』と共にスポーツコンテンツの充実を図りました。

『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』では、コロナ禍に負けず暖簾を守る名店を紹介。ローカル局やCS局への番組販売も実施しております。また、豪華ゲストを迎え、生バンドで昭和の名曲をお届けする『八代亜紀いい歌いい話』、無料BS放送唯一のバイク専門番組『大人のバイク時間 MOTORISE』等、内容をより一層充実させて放送しております。

また、更なる視聴者獲得のため、世界最大級のドキュメンタリーチャンネルである「ディスカバリーチャンネル」が誇る豊富で良質な作品群の中から、特に評価と人気の高い作品を厳選し『ディスカバリー傑作選』として放送しております。ドラマジャンルの拡充にも努めており、ヨーロッパミステリー『FLIGHT HS13』、中国ドラマ『オリジナル・シン-原生之罪-』、韓国ドラマ『A-TEEN』は日本初放送をいたしました。

【特別番組】

日本の魅力を再発見する祝日の日シリーズとして、『昭和の日スペシャル 驚き!昭和の庶民遺産』『みどりの日スペシャル 未来を変えるSDGsの扉』を放送。歴史をテーマとした特別番組では、『春風亭昇太のこだわり歴史斬』『偉人・素顔の履歴書』を放送いたしました。また、東日本大震災から10年の節目にあたり、報道番組『報道ライブ インサイドOUT 特別取材 震災から10年 福島のいま、そして未来』、被災地応援番組『おいしい缶詰ツーリズム～食べて飲んで東北にエールを!』を放送。演芸番組『柳家喬太郎の笑って免疫力UP!寄席』では、大人気講師・神田伯山さんをはじめとした豪華出演者が登場し、好評を得ております。

今年で6度目の放送となる(株)京都放送との共同制作番組「京都夜桜生中継」は、『京都夜桜生中継2021～日本映画発祥の地に咲く桜物語～』と題し、ゲストに俳優の里見浩太朗さんを迎え放送。『京都画報 初夏・京料理を支える匠の技』は、東京メトロポリタンテレビジョン(株)、(株)京都放送と3社で共同制作をいたしました。また、全国各地のローカル局10社と協力し制作したミニ番組『桜前線2021 全国キャスターリレー!～神社仏閣に咲く桜～』等、ローカル局とのコラボレーション施策も積極的に実施いたしました。

3年目を迎えた『BS11CUP全日本eスポーツ学生選手権大会』については、パワフルプロ野球部門を新設し、ウイングイレブンと共に2部門にてインターネットによるオンライン予選を実施。決勝大会は、生放送及び「BS11オンデマンド」サイトにて配信をいたしました。

上記の他、見逃し配信サイト「BS11オンデマンド」では、『報道ライブ インサイドOUT』、『大人のバイク時間 MOTORISE』をはじめとしたレギュラー番組に加え、『偉人・素顔の履歴書』、『柳家喬太郎の笑って免疫力UP!寄席』等の特別番組も放送後に配信を行い、視聴者ニーズの充足に努めております。

【アニメ関連事業】

「ANIME+ (プラス)」枠では、製作委員会へ出資した作品の『転生したらスライムだった件 転スラ日記』、『ひげを剃る。そして女子高生を拾う。』、『SSSS. DYNAZENON』、『スライム倒して300年、知らないうちにレベルMAXになってました』、『やくならマグカップも』、『セブンナイツ レボリューション -英雄の継承者-』等を含め、毎クール約40タイトルのアニメ番組を放送。当社オリジナルのエンタメ総合情報番組『アニゲー☆イレブン!』は、今年10月に放送開始7年目を迎え、森口博子さんが司会を務めるアニメソング番組『Anison Days』と共に、アニメファンからの高い人気を得ております。また、7回目の出展となるアニメイベント「AnimeJapan 2021」は、コロナ禍によりオンライン開催となる中、初の試みとしてBS11公式YouTubeチャンネルにて、新作アニメの人気声優陣によるトークショー等を生配信いたしました。更に当社オリジナルのアイドル番組『虹のコンキスタドールが本気出しました!?～Next Stage～』は、各動画配信サービスにて見逃し配信を行っており、視聴者との接触チャネルの拡大に努めております。

また、今の時代を生きる子供たちに素敵な絵本との出会いを贈る『今日のえほん』は、グループ会社である(株)理論社、(株)国土社の児童書を映像化し、俳優の室井滋さんによる読み聞かせ番組として放送しております。「アニメプラス」枠、「キッズアニメ∞ (むげんだい)」枠のアニメ番組と共に、子供から大人まで幅広い視聴者に好評を得ております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 8,780,234千円（前年同期比 3.0%増加）となりました。営業利益は 1,985,495千円（前年同期比 18.7%増加）、経常利益は 2,056,382千円（前年同期比 22.6%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,406,288千円（前年同期比 22.3%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ477,959千円増加し、21,897,943千円（前連結会計年度末比2.2%増加）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が114,203千円減少したものの、現金及び預金が681,174千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ577,910千円減少し、2,041,794千円（前連結会計年度末比22.1%減少）となりました。主な要因は、未払法人税等が131,074千円減少した他、流動負債のその他に含めて表示している未払金が197,365千円、未払消費税が98,398千円、未払費用が90,745千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,055,870千円増加し、19,856,149千円（前連結会計年度末比5.6%増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が、前連結会計年度の期末配当356,077千円により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,406,288千円の計上に伴い1,050,210千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年10月6日に公表した2021年8月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日（2021年7月2日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,399,320	12,080,494
受取手形及び売掛金	1,943,310	1,829,106
たな卸資産	359,937	397,477
その他	49,047	49,676
流動資産合計	13,751,615	14,356,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,475,116	2,395,887
土地	4,034,756	4,034,756
建設仮勘定	522,720	—
その他(純額)	167,569	688,697
有形固定資産合計	7,200,162	7,119,342
無形固定資産	68,330	89,986
投資その他の資産	399,876	331,859
固定資産合計	7,668,368	7,541,187
資産合計	21,419,983	21,897,943
負債の部		
流動負債		
買掛金	557,801	513,258
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,900	—
未払法人税等	501,853	370,778
返品調整引当金	52,746	38,338
その他	905,660	514,657
流動負債合計	2,519,961	1,937,032
固定負債		
退職給付に係る負債	80,765	86,466
その他	18,977	18,295
固定負債合計	99,742	104,761
負債合計	2,619,704	2,041,794

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,183,936	4,183,936
資本剰余金	3,517,726	3,517,726
利益剰余金	11,089,605	12,139,816
自己株式	△143	△143
株主資本合計	18,791,125	19,841,336
新株予約権	9,153	14,812
純資産合計	18,800,278	19,856,149
負債純資産合計	21,419,983	21,897,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
売上高	8,523,078	8,780,234
売上原価	4,178,989	4,127,064
売上総利益	4,344,088	4,653,169
販売費及び一般管理費	2,671,277	2,667,673
営業利益	1,672,811	1,985,495
営業外収益		
受取利息	51	124
保険解約返戻金	4,712	69,152
その他	3,632	4,603
営業外収益合計	8,396	73,880
営業外費用		
支払利息	3,029	2,931
その他	576	62
営業外費用合計	3,605	2,993
経常利益	1,677,601	2,056,382
税金等調整前四半期純利益	1,677,601	2,056,382
法人税、住民税及び事業税	526,195	661,936
法人税等調整額	1,636	△11,842
法人税等合計	527,831	650,093
四半期純利益	1,149,769	1,406,288
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,149,769	1,406,288

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
四半期純利益	1,149,769	1,406,288
四半期包括利益	1,149,769	1,406,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,149,769	1,406,288
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上でのコロナウイルス感染症に関する一定の仮定について)

新型コロナウイルス感染症の拡大については、現在でも尚、継続している状況であります。当社グループでは2021年8月期を通して当該影響が継続し、その後2022年8月期上期にかけて経済状況は徐々に回復していくものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、今後の経過によっては実績値に基づく結果が、これらの仮定及び見積りとは異なる可能性があります。なお、この仮定については、前連結会計年度から重要な変更はありません。